

令和 7 年度「スーパー元気・さわやかキャンペーン」取組について まとめ

1 グループ、実施形態

No	事務局	グループ校			主な取組
1	内牧小	春日部中	粕壁小		挨拶運動、縦割り活動、良さ発見、道徳
2	牛島小	東中	幸松小	小湊小	行動宣言、道徳、学級活動、良さ発見カード
3	宮川小	豊春中	豊春小		異学年交流、道徳、標語作成
4	備後小	武里中	武里小		アサーション、良さ発見、縦割活動、道徳
5	八木崎	大沼中	上沖小		挨拶運動、人権作文、スローガン作成
6	藤塚小	豊野中	豊野小		挨拶運動、行動宣言、道徳、学級活動
7	正善小	緑中	緑小		挨拶運動、異学年交流、道徳、メッセージ
8	江戸川小中	大增中	立野小		注意喚起動画作成、行動宣言、異学年交流
9	武里西小	春日部南中	武里南小		授業参観、道徳、挨拶運動
10	桜川小	葛飾中	南桜井小		異学年活動、挨拶運動、道徳
11	中野小	飯沼中	川辺小		3校合同議定書、スローガン作成、道徳

2 成果

- ・進学先の中学校区で統一した取組を企画・実施できた。
- ・昨年度よりも全校で共有できた内容が増え、学校全体の理解が深まった。
- ・参集型の活動により、児童生徒が地域の方々との関わりを実感できた。
- ・計画通りに取組が進み、達成感を得られる活動となった。
- ・仲良くしようとする意識や、朝のあいさつの活発化など、児童生徒の意識が向上した。
- ・代表者の全校発表が決意表明となり、主体性や意識の高まりにつながった。
- ・中学生が模範となる姿勢を示し、小中のつながりが強まった。
- ・生徒の良いところを見つける機会となり、中学校生活でのサポートにも活かした。
- ・9年間の学びの連続性を意識した取組ができた。
- ・顔を合わせて話すことで、質問や交流が活発になった。
- ・保護者・学校運営協議会委員・PTA 役員など、多くの関係者が参加し、学校・家庭・地域の連携が深まった。

3 課題

- ・参加する児童生徒が限定されており、関わる人数を増やす必要がある。
- ・生徒が自分事として取り組めるようにする工夫が不足している。
- ・生徒間で取組への意欲や温度差がある。
- ・グループ校間で活動のタイミングを統一できなかった。
- ・行事との重なりにより、学年ごとに取組の差が生じた。
- ・スケジュールがタイトで、十分な時間を確保しにくい。
- ・参加校が授業に支障なく実施できる時間設定が必要。
- ・外部教材の活用や地域とのつながりが弱い。
- ・地域との連携をどう強化するかが課題。
- ・取組を地域へどのように広げるかが明確でない。
- ・日常の指導と活動をうまく結びつけられていない。
- ・家庭や地域の関心を高める仕組みづくりが必要。